学びの基盤となる【読書】

【読書】キャラクター「おっほん」

実施期間
【12／1～12／24　】

札幌らしい特色ある学校教育

おっほんシート

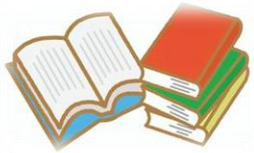
札幌市立栄西学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

■「開館１０周年記念ウィーク」

ピリカ文庫開館10周年記念を祝して、図書ボランティアさんたちに紙芝居・読み聞かせ・ペープサート劇を行っていただいた。様々な読書機会を通して、本に対する親しみをもつことができた。



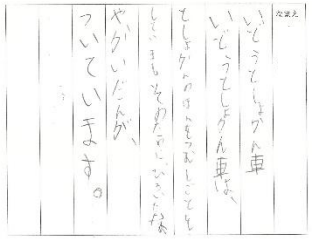
図書ボランティアさんたちが、たくさんのご準備や練習をしてくださって、日替わりで様々な企画をしてくださった。大盛況だった。

学習センターとしての機能

■「小学１年生　国語科『せつめいする文しょうをかこう「じどう車ずかんをつくろう」』

図書館や寄託図書を活用し、興味のある自動車を選び、「しごと」や「つくり」を調べて「じどう車ずかんメモ」を作った。

そこから、「しごと」と「つくり」、「そのために」の使い方などを確かめながら、図鑑のページをつくることができた。



図書館にたくさん自動車の本があったことで、一人一人がじっくり自動車選びに向き合い、図鑑づくりに取り組むことができた。

情報センターとしての機能

■「ブック＆ブック委員会による　ブックカバーづくり」

たくさんの児童に参加してもらった。ブックカバーづくりを通して、図書館への利用意欲が高まった。

委員会としての責任感が向上したり、全校児童が図書館に親しんだりするきっかけとなった。

■「小学１年生　国語科『としょかんへいこう』」

図書館の利用の仕方やどこにどのような本があるかを知り、図書館に対する親しみをもつことができた。

図書ボランティアさんとの顔合わせをすることで、図書館に対する関心が高まり、その後、積極的な図書館利用につながった。